



# プランタン管弦楽団 第16回定期演奏会

PROGRAMME

F.リスト

交響詩「前奏曲」

W.A. モーツァルト

ピアノ協奏曲 第24番 八短調 K.491

J.ブラームス

交響曲 第1番 八短調 op.68 〈ヘンレ/ブライトコプフ決定稿〉

指揮 ● 中村 暢宏

ピアノ ● 前田 祐里

2017

6.18 日 12:45開場  
13:30開演

愛知県芸術劇場コンサートホール

[地下鉄栄駅より徒歩2分]

全自由席 500円

チケットぴあ tel 0570-02-9999 Pコード [315886] URL <http://t.pia.jp/>  
お近くのチケットぴあ、サークルK、サンクス、セブンイレブン各店でも直接お買い求めいただけます  
愛知芸術文化センタープレイガイド tel 052-972-0430  
名古屋市文化振興事業団チケットガイド(ナディアパーク8F) tel 052-249-9387  
その他プレイガイド等にて発売

主催 ● プランタン管弦楽団

後援 ● 名古屋市 名古屋市教育委員会 中日新聞社

お問合せ ● 080-3668-4058 プランタン管弦楽団

URL <http://orchestreprintemps.com/> E-mail [printemps0163@yahoo.co.jp](mailto:printemps0163@yahoo.co.jp)

小さなお子様のご鑑賞は他のお客様の迷惑にならないようお願いいたします  
◎託児サービスのご案内 [1/5より受付開始] ※6/15(木)までにお申し込みください  
託児料金：お子様一人につき 1,000円  
お申し込み・お問合せ：トットメイト tel 0120-01-6069 (9:00-17:00)





16th Regular Concert  
June 18, 2017

2000年に結成された、出身地や職業が多様なメンバーで構成されるアマチュアオーケストラ。毎年夏に定期演奏会、隔年冬にウィンターコンサートを開催しています。

今回の定期演奏会では、ハンガリー、オーストリア、ドイツを代表する作曲家の作品を取り上げます。3人が共通して活躍した舞台である、音楽の都ウィーンの香りをお届けできるよう、練習に励んでいます。

ピアノ独奏には第14回定期演奏会で協演した前田祐里さんをお迎えしました。

是非ともご来聴いただきますよう、団員一同お待ちしております。



第15回定期演奏会 ベートーヴェン：交響曲第3番「英雄」他  
2016.7.10 愛知県芸術劇場コンサートホール



指揮  
中村 暢宏

Nobuhiro NAKAMURA

1973年東京生まれ。1996年愛知県立芸術大学卒業（ヴィオラ専攻）。これまでに宮松重樹、河津政實、田久保裕一、秋山一慶、A.ポリシュク、V.シナイスキーの各氏に指揮法を師事。ヴィオラ奏者として、中部フィルハーモニー交響楽団トップ奏者を務めるなど、各地のオーケストラで活動。指揮者としては、国内での活動に加え、2007年にロシアのサンクト・ペテルブルク、2012年にブルガリアのプロヴィディフにおける公演、2013年にはウィーン楽友協会にてベートーヴェンの「ミサ・ソレムニス（荘厳ミサ曲）」を指揮。これまでに、愛知室内オーケストラ・ミュージックアドヴァイザー、一宮市消防音楽隊常任指揮者などを歴任。現在、ブラントン管弦楽団常任指揮者、名古屋アマデウス室内管弦楽団音楽監督、名古屋市民吹奏楽団常任指揮者、椋山フィルハーモニーオーケストラ指揮者、愛知工業大学管弦楽団指揮者など、数多くを務める。名古屋フランス音楽研究会会員。

名古屋市立菊里高校音楽科卒業後、ヤマハ音楽支援制度の奨学金を受け渡独。翌年、マンハイム音楽大学ロベルト・ベンツ教授のクラスに入学、2009年2月に満場一致の最優秀の成績で卒業する。2008年2月にイタリア・ミラノTeatro Dal Vermeにてソロリサイタルデビュー。これまでに様々な国際コンクールで入賞の他、ヨーロッパ各地にてリサイタル、又オーケストラと協演する。2009年より2年間ライオンズクラブ・マンハイム、2011年よりスイスDOMS奨学金を授与される。2013年1月マンハイム音楽大学ソリスト科を修了、国家演奏家資格を取得。10年のドイツ生活を経て2013年に帰国し、翌年CDデビュー、NHK-FMリサイタル・ノヴァ出演。現在は名古屋を拠点に演奏活動、また後進の育成にも力を注いでいる。2015年7月にはラフマニノフ：ピアノ協奏曲第3番をブラントン管弦楽団と協演。これまでに、大口光子、柴田道夫、ロベルト・ベンツ各氏に師事。



ピアノ独奏  
前田 祐里

Yuri MAEDA

オフィシャルウェブサイト  
<http://yurimaeda.com>



● J.ブラームス  
交響曲 第1番 八短調

Johannes Brahms 1833-1897 Germany  
Symphony No.1 C minor op.68

ベートーヴェンの交響曲第10番と呼ばれることを、ブラームスはどう感じていたのだろうか。21年の歳月をかけて作曲された、不朽の名作である。



● W.A. モーツァルト  
ピアノ協奏曲 第24番 八短調

Wolfgang Amadeus Mozart 1756-1791 Austria  
Piano Concerto No.24 C minor K.491

多くの交響曲や協奏曲を作ったモーツァルト。そのほとんどが長調である。わずかに存在する短調作品の一つであり、技巧的かつ情熱的な作品。



● F.リスト 交響詩「前奏曲」

Franz Liszt 1811-1886 Hungary  
Les préludes

「交響詩」を初めて作曲したリスト。その代表作「レ・プレリュード」は、本来「死」への前奏曲であるが、絢爛豪華な曲想はそれを感じさせない。